

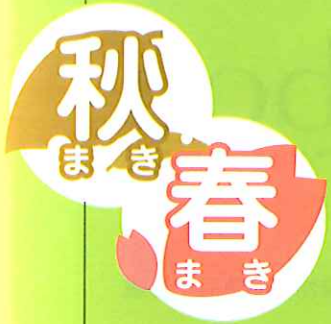
ほうれんそう

べと病レース1〜7抵抗性

は た ぼう

葉多坊

Hatabou



緑が濃い

草姿 極立性

作業性 重視

ほうれんそう

葉多坊 (はたぼう)

Hatabou

特性

①ベト病抵抗性 (レース1~7) と高品質を両立

これまでのベト病レース1~7抵抗性品種より草姿・葉色・収量性が改良され、青果物の品質も十分満足いただけます。

②濃緑・極立性

葉色は表・裏ともたいへん濃く、差別性があり、店頭で鮮度が感じられます。
葉はやや細身の剣葉。草姿は極立性で収穫・調整時に葉がからまず作業性が優れます。

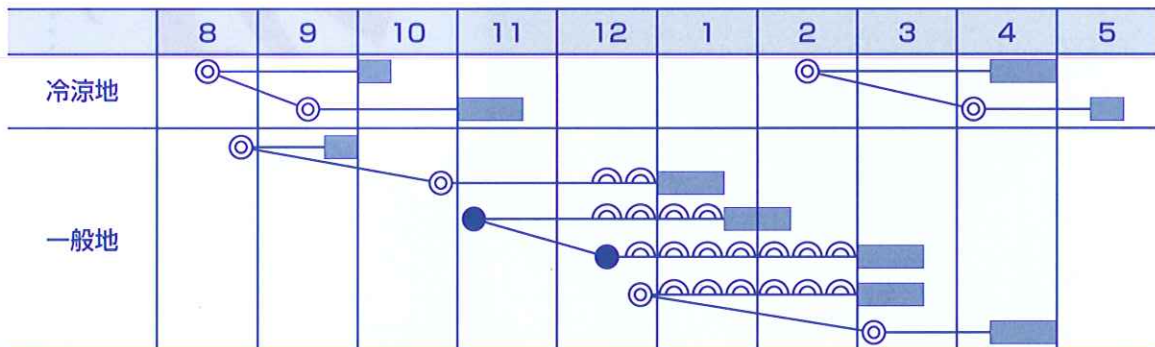
③多収

極立性品種の中では葉肉厚く、葉柄が太いため収量も期待できます。
葉身・葉柄のバランスがよく、荷姿が美しい。

④秋・春まき可能

「アデル」前後の作型に適します。
年内どりと春どりにお勧め。

適作型



● 播種 ◎ 最適播種 ⌒ トンネル ■ 収穫

栽培の要点

- ①ほうれんそうは過湿に弱いため排水のよい土壌を選ぶことが重要。
- ②栽培に当たっては、あらかじめ堆肥などの有機物を投入して土壌の物理性を改善し、地力をつけておく。
また、酸性土壌を嫌うため事前に土壌分析を行い、pHを矯正しておく。
- ③4月下旬は収穫前に葉柄が伸びるため、適期収穫を心がける。
- ④抽苔しやすい夏まきは避ける。

施肥例

肥料は元肥主力で有機化成NN121号を10a当たり200kg程度全面に施す。
(チッソ20kg、リン酸24kg、カリ20kg)

比較表

一般地

品種名	ベト病抵抗性	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	早晚性	草姿	葉色
アステアセブン	1~7	■	■	■	■	■	■	■	■			中	立	極濃
葉多坊	1~7	■	■	■	■	■	■	■	■			中早	極立	極濃
アデル	1~7	■	■	■	■	■	■	■	■			早	立	濃

■ 播種時期 ■ 最適播種時期